

## 著者一覧

### 編集代表

村松浩幸（一般社団法人ギジュツドットコム代表理事・信州大学教育学部教授）

1996年より川俣氏と「技術のおもしろ教材集」を運営。日本産業技術教育学会会長やNHK高専ロボコン審査員など歴任。「オモシロイを形に」をキャッチフレーズに、技術教育を盛り上げるために様々な取り組みや教育・研究・社会貢献を展開中。

### 編集副代表

川俣 純（一般社団法人ギジュツドットコム理事・茨城県阿見町立朝日中学校教諭）

1994年より茨城県公立中学校で技術科を担当。1996年に村松氏とWebサイト「技術のおもしろ教材集」を立ち上げる。Facebookグループ「技術教室グループ」の世話を務め、MakerFaireTokyoにも複数回出展。技術科教師はMakerであるべきが持論。

### 著者一覧（アイウエオ順）

安達 渉（一般社団法人ギジュツドットコム理事・富山県南砺市・非常勤講師

日替りで複数校を兼務）

富山ジュニアロボコン実行委員会を創設し、「とやまOPEN中学生ロボ魂」、「とやまOPEN中学生ものづくりプロモーションビデオコンテスト」を運営。「楽しいものづくりの授業を子供達へ」を合言葉に富山県内を奔走中。

荒木誠吾（石川県加賀市立橋立海青学園教諭）

信州大学教育学部卒業。2000年より石川県公立中学校で技術・家庭科を担当。生成AIを活用したアプリ開発に精力的に取り組み、近年は教育現場と結びついた開発環境の構築を進め、GitHubで世界に布教計画中。

猪狩克也（任意団体 STEAM ラボ広島代表・広島県広島市立祇園東中学校教諭）

1997年に福島県公立学校で技術科教員となる。本サイトに出会い、技術科教育の魅力にハマる。東日本大震災を経験後、上海日本人学校へ赴任、国際的視点を得る。帰国後は、広島に移住し、地域企業と技術科教育をつなぐ「STEAM ラボ広島」を立ち上げ、奔走中。

大藤泰生（兵庫県関西学院中学部教諭）

公立中学校での勤務を経て、関西学院中学部の技術科教諭。ロボコンやLuantiなどを取り入れた授業を展開する。関西を中心にMaker Faireや「青少年のための科学の祭典」

への出展、小学生対象の体験授業などを通じて、技術科の楽しさを広めようと奮闘中。

**門田和雄（一般社団法人ギジュツドットコム理事・神奈川工科大学教授）**

本サイト初期のころから参加。中学校、工業高校、教育大学を経て現職。現在は、STEAM教育や教員養成、機械工学教育に携わる。2013年にはファブラボ関内を立ち上げ、デジタルファブリケーションを軸とした実践を続けている。

**熊谷光朗（千葉県八千代市立勝田台中学校教諭）**

2009年より千葉県公立中学校で技術科を担当。「技術を学ぶ」授業よりも「技術で学ぶ」授業を目指し、探究的な学習活動を重視した実践を行っている。日々の授業改善を通して、技術科の学びの可能性を追究している。

**京谷充訓（奈良市立平城東中学校）**

無いなら作れ。物差しは、与えられ使うものではなく、自らが作るもの。奈良の田舎の技術教師。3Dプリンタの活用を集中的に研究し、その御縁で全国の技術の先生と交流を持ち今に至る。今は、STEAM教育と探究学習とポスターセッションを集中的に研究中。

**近藤昌也（内灘町立内灘中学校教諭）**

石川県公立中学校で技術科を担当。micro:bitに出会ってからプログラミング教育により一層力を入れるようになる。最近は生成AIによるコーディングを学習中。AIが人間の100倍早くコードを書く時代に、どんな力を生徒に身に着けさせればよいか日々考えている。

**高野健人（長野県飯綱町立飯綱中学校教諭）**

2011年より長野県公立中学校で技術科を担当。「誰でも授業で使える！」ことを目的とし、生成AIをフル活用し、無料で利用できる教材を日々研究・発信中。その取組みの中で、平成7年度東書教育賞・優秀賞も授賞。

**高松基広（株式会社ティーファブワークス 代表取締役, CoderDojo つくば・守谷 Champion）**

企業向けシステム開発を専門としつつ、CoderDojoを通じて教育分野に携わる。教員向けものづくり支援を目的に「ティーファブワークス」を設立し、「AkaDako」シリーズなどを開発し、雑誌連載も執筆。明日から授業が出来る研修イノベーションで全国行脚中。

**西村和行（相模原市立大野南中学校教諭）**

2002年より神奈川県公立中学校で技術を担当。レーザー加工機を使った授業実践に取り組む。最近はIoTを活用した生物育成における野菜の栽培と鶏の飼育をテーマなど、情報技術と生物育成の技術の連携させた研究にも取り組んでいる。

### 広住仁（埼玉県久喜市 デジタルものづくり工房 ZumiLabo 代表）

青森県八戸市で教員として勤務し、中学校ロボコンや国際 Jr ロボコンの普及に尽力。現在は埼玉で ZumiLabo を開設し、地域の技術科を支援。久喜イノベーションの会代表として地域連携にも取り組み、学校内外から技術教育を支える実践を続けている。

### 藤田光幸（青森県八戸市 中学校教諭技術科担当を定年退職）

（その後、クラウドコンピューティングの派遣エンジニア）

青森県八戸市で技術科教員として勤務し、中学校ロボコンや国際 Jr ロボコンの運営に携わる。大会では審判長や Jr 特許判定員を担当。現在も市民参加型ロボコンや発明クラブでの製作指導を続けている。退職後も地域のものづくり教育を支え続けている。

※所属は 2026 年 2 月 1 日現在です。

### 謝辞

本書の刊行、ならびに「ギジュツ・ドット・コム」の運営にあたり、多くの方々からご協力とご支援を賜りました。ここでは、主な方々に対して御礼を申し上げます。

技術教育メーリングリストの立ち上げおよび運営に際しては、堀田龍也先生に大変お世話になりました。また、技術教育メーリングリストにご参加いただいた全国各地の 753 名の皆様からは、技術教育に関する貴重な経験や情報、知見をご共有いただきました。「ギジュツ・ドット・コム」の CMS 移行にあたっては、西尾悦子先生、笹倉千紗子先生、紺谷正樹先生、板垣翔大先生、長嶋秀幸先生、辻さやか先生のご協力により、作業を円滑に進めることができました。ここに感謝いたします。

さらに、現在も進行・発展を続けている「技術教育グループ」に参加されている 680 名の皆様には、リアルタイムで多様な教材情報や知見をご共有いただいており、その積み重ねの中から「ギジュツ・ドット・コム」の活動が生み出されています。ここに改めて深く感謝申し上げます。

そのほか、教材をご投稿くださった皆様、ならびに本サイトにアクセスし、教材をご活用いただいているすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

今後とも「ギジュツ・ドット・コム」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

（村松浩幸・川俣 純）